

事業 番号	事業名	事業概要		確定額 (千円)	事業区分
		事業実施により実現できた具体的効果・成果			
	事業者名	実施地等			重点等
		実施期間			
URL					

内3	光とフォトニクスに関する国際会議	<p>光、レーザー、フォトニクスに関する国際会議を開催した。光技術に関する10の専門国際会議を同時に開催することにより、十分な組織を持たない研究グループでも国際会議の開催が可能となり、国内外の最先端情報を集結するとともに異分野連携の促進を図った。</p> <p>光・レーザーが創造する未来社会を目指して、光技術に関する世界の第1線研究者の参加のもとに、10の専門国際会議を同時に開催して、次世代社会の基盤である光・レーザーに関する科学技術のフロントを前進させるとともに、我が国の基盤技術としての世界へのアピールとイニシアティブを確立できた。</p> <p>最先端技術である10の専門技術分野で国内外の研究・技術者が一堂に会し、最新研究成果の発表、討議が行われ、今後の研究と実用化の指針を把握、確認することができた。</p> <p>特に発表の機会が少なかった新規分野では、活発な質疑があり、成果の評価につながる議論がなされた。</p> <p>特に、環境に関して貢献度が高く、我が国が発信しリードしている先端技術分野については、クリーンエンジンを目指すレーザーイグニッション技術、先端材料である炭素繊維材料(CFRP)のレーザー加工技術、農業生産の効率化が期待される光バイオ技術、省エネルギーをさらに改善できるLED技術、将来の核融合エネルギーを目指す高輝度レーザー技術等について、活発な発表と議論がなされ、我が国の基盤技術として世界にアピールすることができた。</p> <p>さらに、同期間に併催された我が国最大規模のレーザーおよび光学機器に関する展示会「OPTICS & PHOTONICS International Exhibition 2013(OPIE2013)」では、本国際会議に関連した分野の特設展示や、ポスターセッションを会場の一角にて開催した。</p> <p>これにより、光・レーザー関連の世界の研究者・技術者が相互に刺激し合う場を提供でき、両者の相乗効果がより強く発現されて新しいアイデアを創造するインパクトを与える技術交流の場として、本助成事業の意義をさらに高めることができた。</p>		1,400	国際会議	
		OPTICS&PHOTONICS International協議会	【実施地等】神奈川			【重点事項 該当事業】
			【実施期間】2013/4/23～2013/4/26			
http://opicon.jp/						